

授業科目

オペレーティングシステム

担当教員名 近藤 正紀	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		○

授業の概要

WindowsやMac OSなどのオペレーティングシステム (OS) の役割は、裸のままでは扱いにくいハードウェアを抽象化し、より扱いやすい仮想的な計算機としてユーザに見せることにある。現在のOSは様々な概念やその実装技術の集大成となっている。コンピューターの利用形態の変化とともに、OSに求められる諸機能も変化し続けており、古典的な技術と共に最新の技術を知ることが重要である。

授業の目的

OSの基本概念と内部構造について理解を深める。

学習目標

オペレーティングシステムの基本概念について理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	序論	講義	近藤 正紀
2	CPUの仮想化 (1)	講義	近藤 正紀
3	CPUの仮想化 (2)	講義	近藤 正紀
4	並行プロセス (1)	講義	近藤 正紀
5	並行プロセス (2)	講義	近藤 正紀
6	主記憶の管理 (1)	講義	近藤 正紀
7	主記憶の管理 (2)	講義	近藤 正紀
8	演習 (1)	Windowsにおいてプロセスや主記憶の状況を確認する	近藤 正紀
9	主記憶の管理 (3)	講義	近藤 正紀
10	主記憶の管理 (4)	講義	近藤 正紀
11	ファイルシステム (1)	講義	近藤 正紀
12	ファイルシステム (2)	講義	近藤 正紀
13	ユーザーインターフェース	講義	近藤 正紀
14	演習 (2)	仮想化環境を用い、Windowsではないオペレーティングシステムに触れる	近藤 正紀
15	演習 (3)	前回に引き続き、各種オペレーティングシステムを操作する	近藤 正紀

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	オペレーティングシステム	松尾 啓志	森北出版	2005年	2,800円+税	
	fundamentals of Operating System	A. M. Lister, R. D. Eager	Palgrave	1993年		
その他の資料						

評価方法

試験、課題提出状況、受講態度によって評価する。

履修上の留意点

参考図書は随時、講義時に紹介する。

オフィスアワー・連絡先

質問等はメールで連絡してください。
masanori-kondo@nuhw.ac.jp